

新
発
見

名取新宮寺一切経『続高僧伝』

げんじょう

と玄奘三蔵の伝記

！

開催趣旨

いま、日本に伝わる古写経に注目が集まっています。なかでも、唐の時代（7世紀）に編さんされた『続高僧伝』の玄奘三蔵（げんじょうさんぞう）の伝記は、日本古写経だけが、玄奘の没するより前にまとめられたものであることが知られています。今回、中世に写された新宮寺一切経にも、この古い形態の『続高僧伝』が残されていることが明らかになりました。新宮寺のご協力を得て、10年に渡って調査をしてきた研究成果とともに、高僧伝とは何か、一切経と関わる新宮寺文殊像をめぐる信仰など広い視点から分かりやすくお話しします。

※唐の玄奘三蔵は、インドから多くの経典を持ち帰って翻訳した僧で、『西遊記』に登場する三蔵法師です。

開催日時 2024年3月10日（日） 13:30～16:30（開場13:00）

司会・挨拶 富樫進（東北福祉大学）

講演

堀裕（東北大学） 新宮寺一切経『続高僧伝』調査の経緯

齋藤智寛（東北大学） 高僧伝とは何か

斉藤達也（国際仏教学大学院大学）

『続高僧伝』玄奘伝と、その日本古写経本研究の意義について

長岡龍作（東北大学） 新宮寺文殊五尊像と日本の文殊信仰

会場：名取市増田公民館 ホール（JR名取駅東口徒歩1分）

参加費 無料／定員 60名程度

申し込み 不要

問合せ先 名取市教育委員会 市史編さん室

電話 022(290)2090 / メール shishi@city.natori.miyagi.jp

主催 続高僧伝研究会（※科学研究費基盤研究（B）19H01191の研究成果の一部です）

共催 名取市教育委員会 東北大学大学院文学研究科